

平成 29 年度年末年始無災害運動  
平成 29 年 12 月 15 日 ~ 平成 30 年 1 月 15 日  
「異常なし! ダブルチェックで念入りに 年末年始もゼロ災害」

年末年始建設業一斉集中監督実施期間  
- H29.12.1 ~ H30.1.31 -

旧年中はお世話になりました。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
旧年中は、当署の業務運営に対しまして、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下にも掲載しておりますが、平成 29 年の労働災害は速報値で 69 人となり、平成 28 年の速報値(96 人)から大きく減少しており、確定値( 4 月上旬発表)も減少する見通しです。目指すべきは「災害ゼロ」ですので、今後も引き続き、更なる災害防止に努めていただきますようお願いいたします。

労働条件関係においても、賃金(時間外労働割増賃金を含む)不払い、解雇、年次有給休暇など、当署に寄せられる申告・相談は少なくない状況にあります。事業場にとって、良質な労働力を確保するためにも適正な労務管理は不可欠です。労働力人口が減少していく中、「働き方改革」に取り組むことが求められており、特に過重労働の防止に向けた取組みの推進は社会全体の課題と言えます。労使協力のもと適正な労働条件の確保・改善にご理解をよろしくお願ひします。

労災業務においては、保険給付の迅速・適正な補償・救済的的確な実施に努めて参ります。なお、労働保険料の期限内納付( 3 期分の納期限は平成 30 年 1 月 31 日(口座振替は同年 2 月 14 日))につきましてもご理解をよろしくお願ひします。

どうぞ本年も昨年にも増して当署の業務運営にご支援を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成 30 年 1 月

名瀬労働基準監督署職員一同

労基署  
だより

第 128 号  
H30.1.9

名瀬労働基準監督署  
TEL 0997-52-0574  
FAX 0997-52-6869

鹿児島労働局HP  
( <http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/> )

鹿児島県の最低賃金  
1 時間 **737 円**  
([http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/kagoshima-roudoukyoku/jireitoukei/pamphlet\\_leaflet/roudo\\_u\\_kizyun/saitin/saitin.pdf](http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/kagoshima-roudoukyoku/jireitoukei/pamphlet_leaflet/roudo_u_kizyun/saitin/saitin.pdf))

労働条件相談ほっとライン  
長時間労働や賃金不払残業などのご相談を夜間・土日にも無料で受け付けます。  
0120-811-610

働く人のメンタルヘルスポータルサイト  
「こころの耳」  
(<https://kokoro.mhlw.go.jp/>)

労働基準関係法令各種様式集  
([http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei\\_seido\\_tetsuzuki/hourei\\_youshikishu.html](http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/hourei_seido_tetsuzuki/hourei_youshikishu.html))

## 平成 29 年 12 月までの休業災害(速報値)は 69 人 対前年同期(速報値)比 27 人(28%)減

名瀬労働基準監督署管内で平成 29 年 1 月から 12 月までに発生した休業 4 日以上の労働災害は、前年同期(96 人(速報値))より 27 人少ない 69 人(速報値)となりました。昨年は例年と比べて異常に多かった訳ですが、平成 27 年 80 人、同 26 年 80 人、同 25 年 83 人(いずれも速報値。なお、確定値では平成 28 年 103 人、同 27 年 87 人、同 26 年 80 人、同 25 年 83 人)という状況で、過去 5 年で最も少ない人数となりました。

業種別では、建設業(21 人)、保健衛生業(14 人)の順に多く発生しています。また、事故の型では、転倒(16 人)、墜落・転落(12 人)、はさまれ・巻き込まれ(10 人)、動作の反動・無理な動作(9 人)、激突され(9 人)の順に多く発生しています。

正月が明けたばかりで普段の作業や生活のリズムを取り戻しにくく、作業手順を省略した不安全行動、機械設備等の安全点検の不足、年度末に向けた気の焦りなども懸念され、労働災害防止のため、特別な配慮が必要な時期です。今一度、基本を踏まえた、安全な作業の遂行に努めていただきますようお願いいたします。

働き方・休み方改善ポータルサイト  
~ 効率的に働いてしっかり休むために ~  
企業の皆様が自社の社員の働き方・休み方の改善に是非ご活用ください。  
(<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>)

職場のあんぜんサイト  
(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>)  
労働災害統計 災害事例  
リスクアセスメントの実施支援システム  
化学物質 免許・技能講習

あんぜんプロジェクト  
(<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>)  
労働災害のない日本を目指してともに活動していただけるメンバーを募集しています。

## 労災かくしは犯罪です。

労災事故があった場合は、所轄の労働基準監督署に「労働者死傷病報告」を提出してください。労災事故に健康保険は使えません。

「労基署だより」は、労働局ホームページ([http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news\\_topics/kantoku/naze-rouki.html](http://kagoshima-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/kantoku/naze-rouki.html))に掲載しています。